

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	都市ブランド創造局観光にぎわい部観光課 都市戦略局都市再生推進部緑政課
評価対象期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	① 北九州市小倉城（しろテラス含む） ② 小倉城庭園 ③ 北九州市立勝山公園 ④ 北九州市立あさの汐風公園	施設類型	目的・機能	
	所在地	① 北九州市小倉北区内 2 番 1 号 ② 北九州市小倉北区内 1 番 2 号 ③ 小倉北区内 1 番ほか ④ 小倉北区浅野三丁目 3 番から 6 番	I —	①②③	
	設置目的	① 歴史的な展示や体験施設を備え、祭り・諸行事の実施を通して、市民や観光客を誘致し、健全な憩いの場を提供する観光施設 ② 日本の伝統文化に関する展示等を通じ、市民や観光客に文化の薫り高い場を提供する観光施設 ③ 都市住民全般の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする。 ④ 主として都市の自然的環境の保全並びに改善、都市の景観の向上を図ることを目的とする。			
利用料金制		④ <input type="checkbox"/> 非利用料金制・①②③ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制・完全利用料金制			
		インセンティブ制	有・ <input type="checkbox"/> 無	ペナルティ制	有・ <input type="checkbox"/> 無
指定管理者	名 称	TEAM城下町小倉共同事業体			
	所在地	小倉北区京町二丁目 2 番 1 9 号 3 階			
指定管理業務の内容		<ul style="list-style-type: none"> 施設管理業務（案内業務、清掃業務、警備業務、施設保守業務、展示物保守業務） 企画・営業業務、集客業務（イベント、企画展） 広報宣伝業務、庶務・経理業務、データ管理業務など 施設運営業務 維持管理業務（植物管理業務、施設管理業務） 賑わいづくり業務 			
指定期間		令和4年4月1日～令和9年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	
1	施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み
	(1) 施設の設置目的の達成
	① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。
	③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。
	④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。
	[所見] 【小倉城及び小倉城庭園】
①	②令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行され、国内外からの観光客数が回復してきたこと及び福岡県子ども美術館・博物館無料鑑賞事業が実施されたことに加え、指定管理者の取組みの結果、小倉城及び小倉城庭園の入場者数はいずれも目標値を上回った。 小倉城の入場者数は、目標値であった23万人を上回る25万人超えを達成した。この入場者数は、天守閣再建期(昭和34・35年)以来63年ぶりのことである。 ・「兜かぶり体験」 大谷翔平選手が「兜セレブレーション」で使用しているメーカーが作製した兜をかぶって写真撮影を期間限定で開催。家族連れや海外の方に大好評であった。 ・「ド派手成人式なりきり体験」 2日間のイベント開催だったところ、海外の方に非常に人気となり、8月から常設で行うことにした。 ・「小倉お城まつり」 令和5年度から3週にわたり開催された。「市民の祭典」「太鼓の祭典」「武将隊大集合」とテーマを掲げ、多くの来場者を楽しませた。 ・「小倉城武将隊」 令和4年度に結成され、認知度も高まり、写真撮影等の来場者へのサービスを提供することで、来場者への満足度向上に寄与するとともに、小倉城の魅力アップに貢献している。 上記以外にも、11月に平成中村座の公演に合わせて紫川周辺で行われた「小倉ライトシンフォニー」の際は小倉城までの道に番傘飾りや提灯等を設置したり、おしるこのふるまいの際はお客様の順路を工夫することにより、より多くの方に小倉城まで足を運んでもらう取組みを行った。また、天守閣5階に設置したバーカウンターを利用し、昼は地元カフェとのコラボ、夜はダイニングやプレミアムバー等を開催し、「日本一おもしろき城」として

大きな話題となった。

小倉城庭園の入場者数は、目標値であった 10 万人を上回った。この入場者数は、庭園の開園（平成 10 年）以来初めてのことである。

・「日本刀の美」（企画展）

ゲーム等の影響で若い世代からも人気のある日本刀をテーマに、九州の刀匠たちの作品を展示。

・「アフタヌーンティー」

日本庭園を見ながら、目の前で立てたお抹茶を含むアフタヌーンティーセットを提供。申し込み開始からすぐに予約完売となり、話題となった。

- ③ 小倉城及び小倉城庭園については 2 施設共通券を発行するなど、観光施設として一体的に取り組んでいる。また、小倉城及び小倉城庭園が勝山公園内に設置されているため、小倉城及び小倉城庭園のイベントと勝山公園のイベントが相乗効果を生んでいる。なお、あさの汐風公園とは地理的な要因から連携が難しいという課題はあるが、令和 5 年度は雑貨類やグリーンインテリアの販売イベント「ボタニカルフラワーマーケット」をあさの汐風公園で開催するなど、小倉駅新幹線口周辺の賑わいづくりに貢献した。
- ④ 営業・広報活動については、小倉城公式ホームページや SNS により情報を発信するとともに、大規模イベントについては、プレスリリースやポスター・チラシの作成及び関係部署への配布を行い、積極的な情報発信に努めた。

【小倉城入場者数】

利用者数	【参考】R3年度 (更新前)	R4年度	R5年度
要求水準	209,000	185,000	185,000
目標値	250,000	200,000	230,000
実績	【178,960】 117,199	204,278	258,747

※ ・・・評価対象年度

※ R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計 95 日間）

【 】内は、新型コロナ休館期間中について R1 年度実績に置換した入場者数

【小倉城庭園入場者数】

利用者数	【参考】R3年度 (更新前)	R4年度	R5年度
要求水準	23,000	70,000	70,000
目標値	31,000	(72,500) 80,000	100,000
実績	【44,836】 25,415	79,593	107,463

・・・評価対象年度

※ () 内は、令和 4 年 4 月 1 日～21 日の休館を考慮した目標値

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）
 【 】内は、新型コロナ休館期間中についてR1年度実績に置換した入場者数
 ※R3年度は空調改修工事等による休館（計146日）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

①② 維持管理や施設運営については、植栽の目的や公園機能により、管理区域、管理基準を設定し、年単位の管理行程計画を策定のうえ、計画どおりに適正に実施している。計画の策定にあたっては、安全・防犯対策や事故防止を考慮し、樹木の高さや植栽密度を決定するなど、それぞれの目的に沿った管理運営を行っており、北九州市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての適切な維持管理水準を保っている。

グリーンエコハウス内の管理事務所に、公園全体の統括担当者を配置し、管理運営を行っている。また、グリーンエコハウスに隣接する場所に作業用倉庫を設置し、迅速な管理運営が行える常駐管理体制を整えている。

高木や生垣などの高度な植物管理業務については、専門的な技術を有する専従スタッフにより、景観に配慮した剪定や利用状況に応じた除草を行うとともに、勝山公園とあさの汐風公園での大型イベント開催の際は、事前に草刈りを行うなど計画的に適正な管理作業を行なっている。

巡回清掃業務については、毎日継続的に行うことに加え、桜のシーズンやイベント開催時、お盆、年末年始など公園利用が増える時期には、作業員を増やして対応している。また、雨季に備えての排水溝清掃など、季節や状況に応じて適宜実施している。

③ 小倉城、小倉城庭園を含む勝山公園一帯で集客イベントを行うなど、シンボル公園に相応しい賑わいづくりに積極的に取り組んだ。

④ ホームページで施設情報やガイドマップ、公園利用のルール、イベント情報等を掲載するなど、積極的に情報発信を行い、公園の利用促進に努めた。

【勝山公園イベント開催率】 (単位：%)

		R5年度											
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		100	100	75	80	75	80	100	100	75	50	75	80
実績	90	91	75	73	89	80	100	100	80	70	60	100	84

(単位：%)

		R4年度											
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		80	80	75	60	75	75	80	75	60	40	75	75
実績	90	100	50	91	100	80	73	90	44	36	89	100	79

(単位：%)

【参考】R3年度(更新前)													
要求水準	勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率 40%以上												
目標値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
		80	65	75	75	70	80	100	80	70	50	56	70
実績	33	15	25	46	11	0	60	50	63	9	0	56	31

※ ・・・評価対象年度

※R3年度は緊急事態宣言（5月12日～6月20日、8月20日～9月30日）及びまん延防止等重点措置（6月21日～7月11日、8月2日～8月19日 1月27日～3月6日）のため実績が低かったもの。

（２）利用者の満足度

- ① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。
- ② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。
- ③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。
- ④ 利用者への情報提供が十分になされたか。
- ⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 施設に関するアンケート結果の「非常に満足」「満足」の合計値は、96.0%と目標値を大きく上回っており、来場者の多くが満足していると考えられる。また、アテンダントの対応についても、91.3%と目標値を上回って入ったため、概ね良い評価を得ていると思われる。
- ② 以前から要望があった小倉城の「なりきり体験」（陣羽織や着物を着て、武士やお姫様になりきる体験コーナー）を再開、アンケートで要望の多かった小倉城庭園での「刀の企画展」については、令和5年11月に開催し、好評を得ている。
- ③ 利用者からの苦情については、スタッフ間で共有を図るとともに、対応可能な苦情については、迅速に対応するとともに業務改善に役立てている。
- ④ 小倉城公式ホームページやSNSによりタイムリーな情報発信に加え、大規模イベントについては、チラシやポスターの掲示・配布により幅広く利用者へ情報提供を行っている。
- ⑤ 遠方からの入場者の取り込み及びサービス向上のため、開館時間の2時間延長を継続して実施。また、スタッフのユニフォームを、城下町をイメージするもの（着物や忍者の装束など）に変更し、観光施設として賑わい・雰囲気づくりを実施し、来場者からは好評を得ている。

さらに、小倉城の魅力・知名度・地域の歴史教育でのおもてなし品質の向上を図るため結成した「小倉城武将隊」についても演劇と殺陣に重きを置き小倉藩にゆかりの武将や武士を本格的俳優陣が演じるなど常にレベルアップを図っている。

【利用者アンケート（施設に対する印象について）】 （単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
目標値	90.0	85.0	88.0
実績	79.2	86.2	96.0

目標値：「非常に満足」、「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【利用者アンケート（アテンダントの対応について）】 （単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
目標値	84.5	85.0	88.0
実績	84.9	83.9	91.3

目標値：「非常に満足」、「満足」の合計値

※ ・・・評価対象年度

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 利用者アンケートの結果、公園全体の管理状況に関する満足度については、「満足・やや満足」が92.2%と高いものの、グリーンエコハウスについては、認知度が65.4%、居心地の良さについても「満足・やや満足」が72.4%となっており、グリーンエコハウスの効果的な活用については課題が残った。
- ②③ 公式ホームページに意見箱を開設し、積極的に利用者意見等の収集に努めており、意見・要望・苦情等は、共同事業体の構成団体内で情報共有のうえ、毎月の会議で協議を行い可能な範囲で業務改善に努めた。
- ④ 公式ホームページで施設情報やガイドマップ、公園利用のルール・マナー、イベント情報など積極的に更新することにより、タイムリーな情報の発信を行っている。
- ⑤ 小倉イルミネーション開催中には、グリーンエコハウス内でのクリスマスの装飾や、あさの汐風公園と勝山公園子ども広場でのARギャラリー（QRコード読み取りにより恐竜が出現し、写真や動画撮影も楽しめる）の設置など、利用者を楽しませる工夫がみられた。

【勝山公園・あさの汐風公園アンケート（公園の管理状況）】 （単位：％）

満足度	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
目標値	95.0	85.0	88.0
実績	91.9	93.8	92.5

※ ・・・評価対象年度

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

[所見]

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 小倉城の指定管理料については、新規の企画提案及び小倉城の施設内の設備老朽化に伴う修繕対応を行う必要が生じたため増額になっている。
小倉城庭園については、概ね予算額どおりの執行が行われている。
- ② 設備の点検やメンテナンス作業などの再委託については、効率的かつ適切な点検・処置が行える委託先を選定して維持管理を行っている。
- ③ 総事業費についてもデジタルサイネージや灯ろうの設置など観光客をおもてなしのための環境整備をおこなったため、前年度にくらべ増額となっている。

【小倉城】

(単位：千円)

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	13,951	47,500	37,000
決算	54,481	60,016	39,067

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	105,350	147,384	147,054
決算	95,039	139,458	190,590

うち光熱水費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	7,000	6,900	7,300
決算	4,403	6,985	7,166
電気使用量(kwh)	212,194	218,687	233,135
水道使用量(m ³)	641	576	798

※ . . . 評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館（計95日間）

【小倉城庭園】

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	34,755	32,000	27,000
決算	42,369	33,134	27,000

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	40,779	71,350	69,557
決算	58,384	56,922	65,444

うち光熱水費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	2,000	3,080	3,150
決算	2,736	2,329	2,921
電気使用量(kwh)	90,637	79,766	85,755
水道使用量(m ³)	525	586	783

※ . . . 評価対象年度

※R3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための休館（計95日間）

※R3年度は空調改修工事等による休館（計146日）

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 電気に関しては、窓への遮光ロールカーテンの設置や戸外へのよしずの設置、打ち水など、グリーンエコハウス内の適正な温度調整を図った。また、事務所内は扇風機を使用するなど節電に努めた。
水道に関しては、巡回の際にトイレ等の漏水や蛇口の締め忘れなどの点検を行い、漏水等の早期発見に努め、自動灌水装置の使用にあたっては、設定時間の変更や水圧の調整など細やかな対応を行った。
- ② 再委託先については、委託する業務内容に係る経験、技術力、緊急対応及び価格、並びに経営・与信状況や法令順守等の経営体制を加味して事業者の選定を行っている。
- ③ 公園の安全と景観を維持する施設管理費やイベント開催経費等をバランスよく執行することにより、市民の憩いの場と賑わいづくりを実現し、施設の設置目的に沿った経費の効果的・効率的な執行がなされた。

【勝山公園・あさの汐風公園】

（単位：千円）

指定管理料	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	58,431	48,000	48,000
決算	58,431	48,000	48,000

（単位：千円）

総事業費	【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
予算	78,725	73,440	73,558
決算	74,489	76,095	73,413

※ . . . 評価対象年度

（2）収入の増加

- ① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

【所見】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① 令和5年度の入場料収入は目標値を上回った。これは、新たなイベント企

画や従来のイベントの内容を工夫するなどの取り組みにより入場者数が増加したためである。

また、しろテラスは7月に免税販売を開始、12月に売り場リニューアルを行ったことで、お土産販売収入（粗利）が大きく増加した。

全体的に指定管理者の積極的な集客促進の取り組みの成果であると評価できる。

【小倉城】

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
利用料金収入	予算	62,250	55,385	63,702
	決算	【46,618】		
		29,828	48,179	71,240
売店収入 (粗利)	予算	7,800	9,486	10,909
	決算	2,335	10,861	17,420

※ . . . 評価対象年度

【小倉城庭園】

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
利用料金収入	予算	8,489	20,656	25,820
	決算	【12,396】		
		7,616	17,985	26,168

※ . . . 評価対象年度

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① 多くの集客が見込めるイベント等を積極的に開催することで駐車場の利用増加を図るとともに、自主事業においては、自動販売機の新たな設置場所の検討や購入しやすい設置方法の工夫など、収入増加に取り組んでいる。

【勝山公園・あさの汐風公園】

(単位：千円)

収入		【参考】R3年度(更新前)	R4年度	R5年度
利用料金収入	予算	19,250	19,250	19,580
	決算	17,646	17,646	18,314
自主事業収入	予算	6,265	3,350	7,375
	決算	4,961	4,961	7,307

※R3年4月～3月 市公共事業工事に伴い、駐車場1箇所閉鎖。

※ . . . 評価対象年度

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であったか。

② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。

③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

【所見】

【小倉城及び小倉城庭園】

- ① アテンダントの受付・対応のアンケート結果でも 90%以上が「非常に満足」、「満足」と高評価を得ており、業務の円滑な遂行と利用者へのサービス向上の実現はできている。人員の配置は、小倉城、小倉城庭園、しろテラスを一括管理することで、朝は庭園、昼から小倉城など幅広く業務ができるよう各施設での研修期間を設け、業務内容に応じて、職員のスキルや経験を考慮し最適な配置を行っている。
- ② 職員の接客スキルの向上とサービスの質の向上を図るため、「おもてなし研修」を年に1度実施している。また、学習機会を増やすため、動画講座を導入し、何度でも繰り返して、いつでも自由に視聴できる環境を整備している。これらの取り組みにより職員のスキルアップと専門知識の向上が図られ、より質の高い施設管理とサービスを提供している。
- ③ 小倉城の四大まつり「夏まつり」「お城まつり」「小倉城菊花展」「大鏡餅」において多くの関係団体と連携して実行している。また、令和5年度も地元関係者による実行委員会が主催する「小倉城竹あかり」と時期を合わせた「小倉城菊花展」の開催や、門司港 GRANDMARKET を開催している「M. A. C 門司港 アンティークカンパニー」と協同で「小倉キャッスル&パークマーケット」を開催するなど他の団体と連携したイベントを開催し、多くの方に来ていただいた。

小倉城庭園では、小倉商業高校、折尾高校、西日本工業大学と連携し授業や講座の提供を行ったり多くの茶道協会とともに茶会を実施している。

また、北九州市外の文化団体との協力を通じて広範なネットワークを築き、知識と経験の共有を促進している。

【勝山公園及びあさの汐風公園】

- ① グリーンエコハウス内管理事務所に、園長、副園長の2名配置のほか、勝山公園専従管理班として技術スタッフ7名がローテーションで公園内の維持管理の作業を行うことにより、イベント後の清掃や大雨、強風による枝折れの撤去や側溝清掃等、緊急事案により迅速に対応できる体制で運営を行った。
- ② 管理事務所スタッフの資質、能力向上を図るため、セミナーや研修を積極的に受講させるとともに、専門家による接遇研修会への受講促進により、公園利用者に適正に対応できるよう努めた。また、共同事業体の教育システムを活用した研修も行っている。

勝山公園専従管理班の技術スタッフは、必要な資格取得に加え、重機の使用方法やメンテナンス、保守点検等について、定期的に講習を行っており、技術の向上に努めている。

- ③ 市民企画花壇「うえるっちゃ！花壇」の運営において、月3回の活動日を設定しており、令和5年度は延べ414人の市民ボランティアが活動に参加した。

小・中学校の夏休み期間は、グリーンエコハウス前でラジオ体操を実施し、延べ485人が参加したほか、就労継続支援B型事業所「王漣」「ファインズ ムービング」との共同企画として、ごみ拾いや清掃、草刈り等の活動を月2回定期的に行い、社会貢献への取り組みを図っている。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

【所見】

- ① アンケート用紙等の個人情報については、保管する必要がないものは業務終了後速やかにシュレッダー処理を行ったり、保管が必要なものは、施錠して保管したりするなどの適正な方法で管理されている。
- ② 施設の利用については、施設の管理運営要綱に即して適正に運営されている。
安全対策については、職員が常に安全意識を持って、子ども連れや高齢者に注意するといった日常の事故防止対策を行うなど、適切に実施されている。
また、車椅子や足が不自由な方々が小倉城に来られる際、天守閣までの急こう配を車で送迎ができるよう、受け入れ体制を整備している。
- ④ 収支の内容についてはモニタリングを行うことで、不適切な点がないことを確認している。
- ⑤⑥ 防犯、防災対策については、緊急連絡網及び緊急対応マニュアルが作成されている。日常の管理及び対策として防火・避難訓練を実施している。常に台風・気象情報等を把握するなどして、非常時への準備が適切にとられている。
- ⑦ 特に大きな事故及び災害等の発生はなかった。

【総合評価】

〔所見〕

令和5年度は、年度の早い段階で新型コロナウイルス感染症の分類が変更になったことにより、インバウンドが本格的に再開するなどようやくコロナ禍以前の状態に戻りつつある。

小倉城及び小倉城庭園の入場者数は、どちらも目標値を上回る入館者数を達成することができた。特に小倉城においては、天守閣再建期(昭和34・35年)以来63年ぶりに25万人超を達成することができたことは高く評価できる。

「小倉城まつり」や「小倉城桜まつり」などの従来の定例的なイベントのみならず、「兜かぶり体験」や「小倉城ド派手新成人なりきりイベント」など新たなイベント創出に積極的に取り組み、小倉城周辺の賑わいづくりに寄与したことは高く評価できる。

勝山公園・あさの汐風公園については、北九州市のシンボル公園（勝山公園）及び小倉駅新幹線口の回遊拠点（あさの汐風公園）としての施設の設置目的達成のため、グリーンエコハウス内に管理事務所を設置して、迅速な管理運営を実施することにより、適切な維持管理水準を保っている。

賑わいづくり事業については、新たなイベントを企画・提案するなど積極的に取り組み、勝山公園の土日祝日における各月の集客イベントの開催率は要求水準（40%）、目標値（71%）をともに大きく上回る84%となっており、シンボル公園としての役割を十分に果たしていると考えられる。中でも、「カーブーツ」や「北九州GRAND MARKET」、「北九州パン祭り&キャッスルパーク」は多くの参加者が来園したイベントであり、中心市街地の活性化に大きく寄与したことは高く評価できる。また、大型イベントのみならず、社会参加を目的としたイベントを定期的で開催するなど地域との連携、協働にも積極的に取り組んだ。

適正な管理運営に関する取組みについては、イベント開催時の事故発生を防ぐため、実施範囲の明確化や監視員を適正に配置するなど安全対策に努めた。

維持管理の作業については、労働安全衛生法を厳守のうえ、安全対策を着実に実施するとともに、利用者が安全安心に公園利用できるよう努めた。

シンボル公園としての適切な維持管理のほか、公園の賑わいを創出、市民の憩いや身近なレクリエーションの場として、子どもから大人まで楽しめる公園利用の促進が図られた。

〔今後の対応〕

引き続き小倉城、小倉城庭園及び勝山公園・あさの汐風公園の適切な施設管理を行うとともに、地元団体や関係機関と連携しながら、街の賑わいづくりため、今以上に魅力あるイベントなどを企画・開催して、市内はもとより市外、インバウンドの来場者の集客につながるよう取り組んでいきたい。